

近畿※における麦生産をめぐる状況



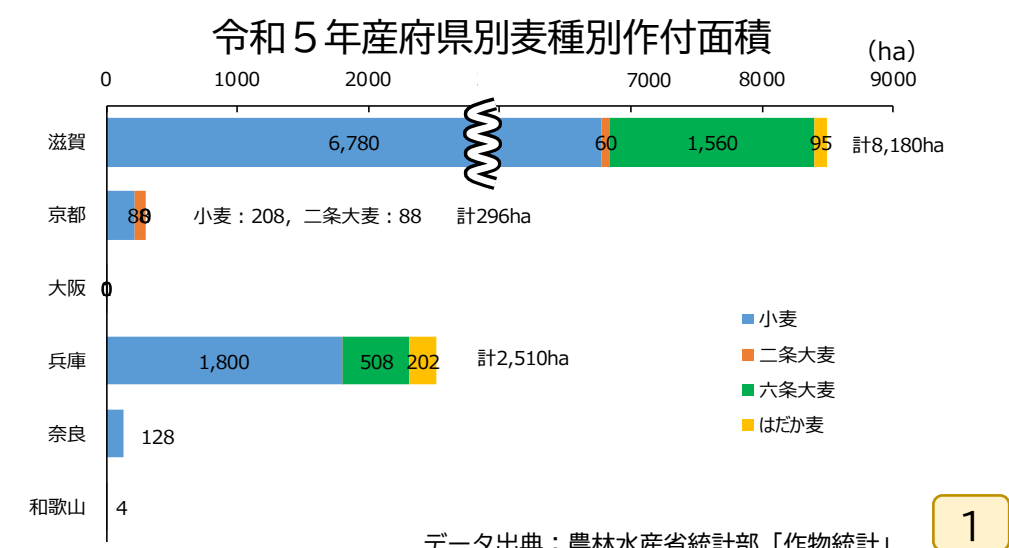
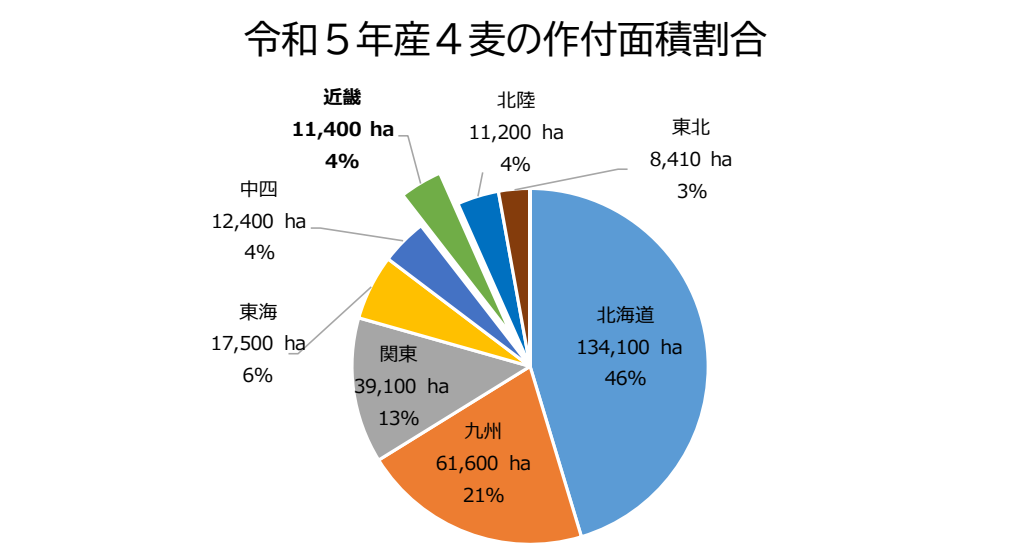
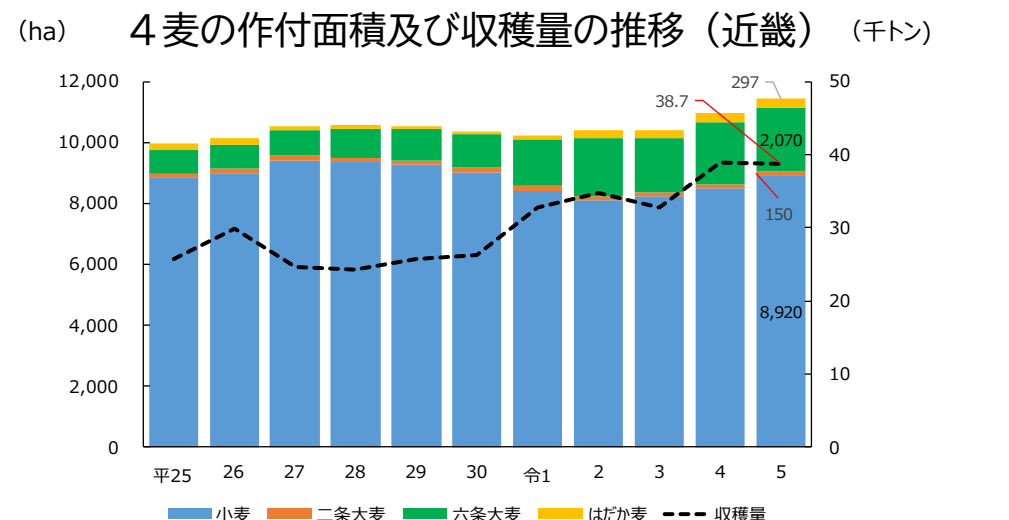
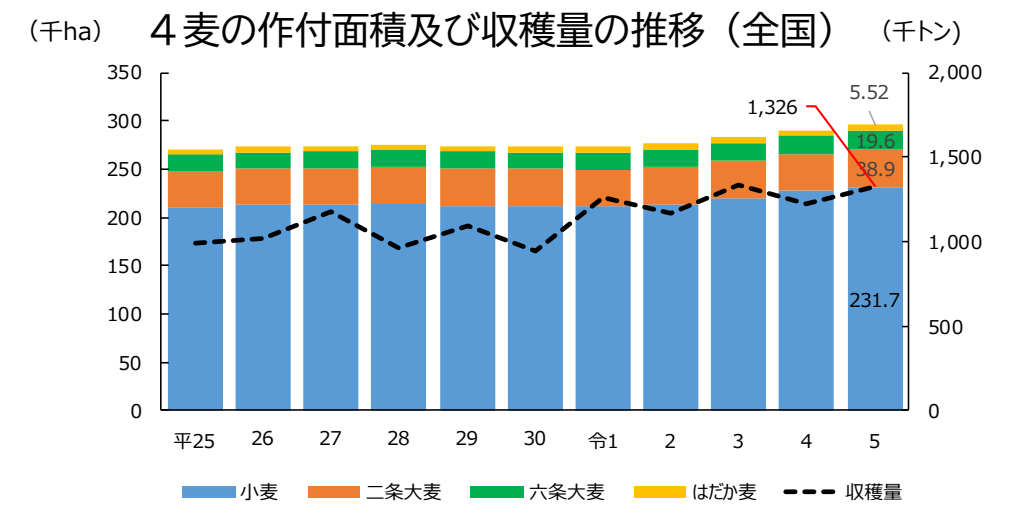
令和7年2月
近畿農政局 生産部 生産振興課

※本資料において、「近畿」は、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県の2府4県を指します。

近畿における4麦（小麦・二条大麦・六条大麦・はだか麦）の作付面積・収穫量

4麦の作付面積は、全国、近畿とも、横ばいで推移していましたが、近年微増傾向にあります。近畿の令和5年産の作付面積は11,400ha（小麦：8,920ha、二条大麦：150ha、六条大麦：2,070ha、はだか麦：297ha）で、全国（295,700ha）の4%となっています。

令和5年産の4麦の収穫量は38,700トンで、全国（1,326,000トン）の3%となっています。

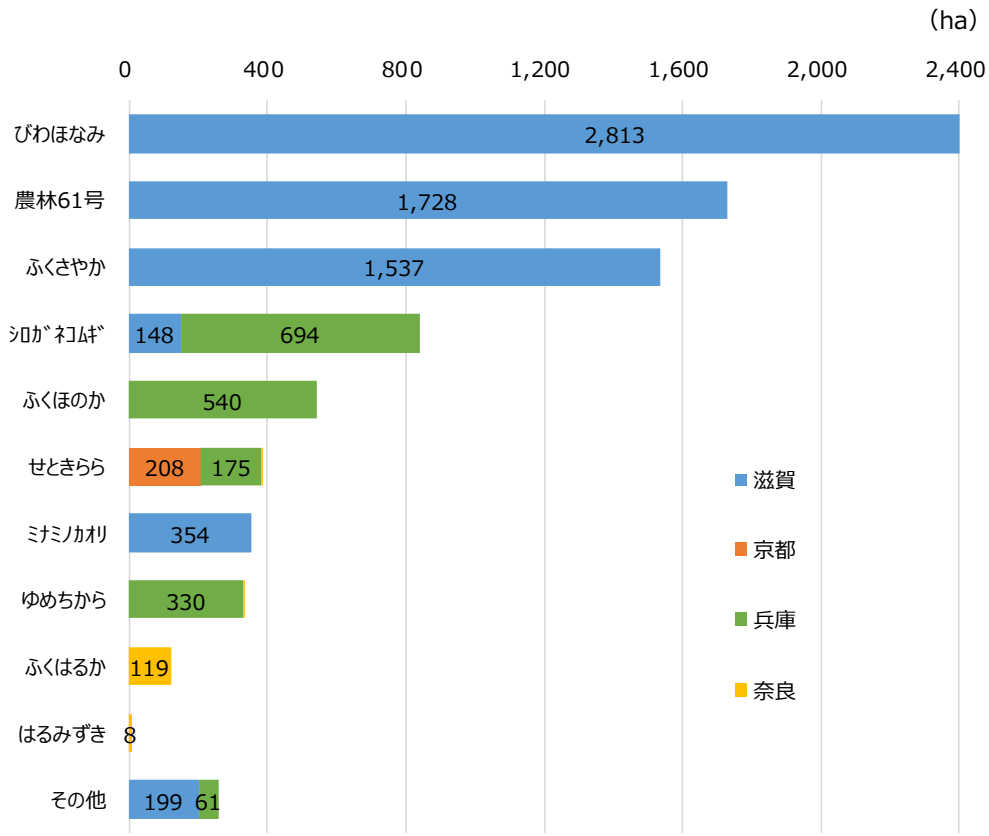


近畿における小麦の品種別作付状況

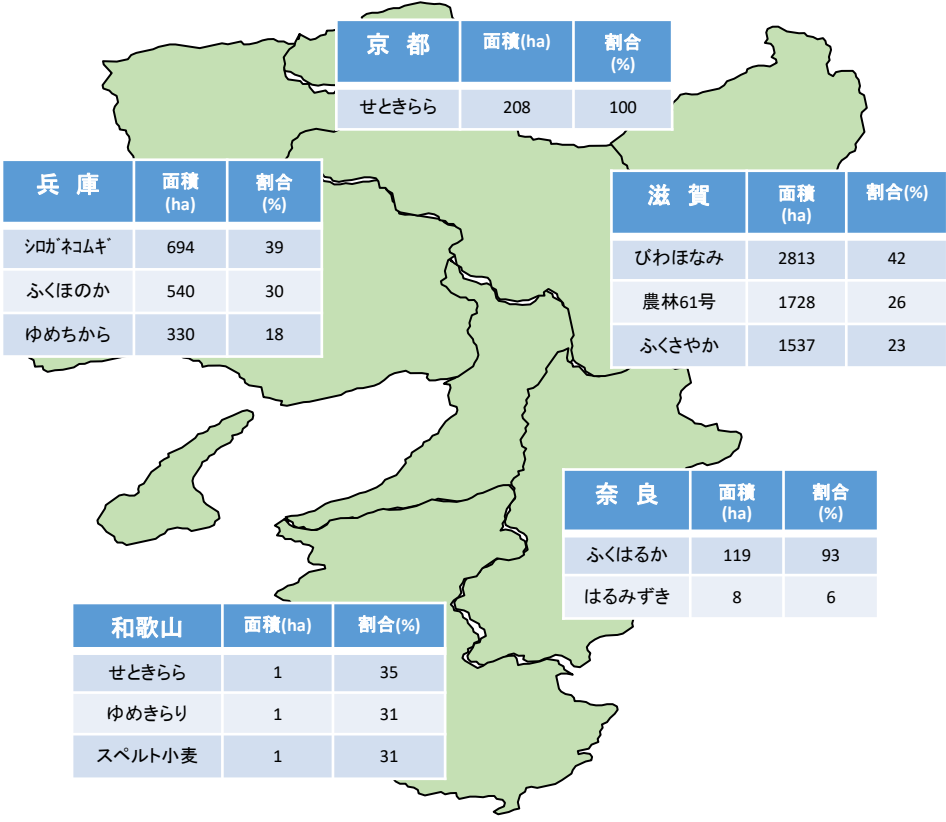
令和5年産の小麦を品種別にみると、「びわほなみ」が2,813ha、「農林61号」が1,728ha、「ふくさやか」が1,537ha「シロガネコムギ」が842haと、この4品種で8割を占めています。

滋賀県では、「農林61号」から「びわほなみ」への転換を進めており、令和5年産「びわほなみ」の作付面積は、2,813haとなっています（「びわほなみ」県内シェア：0.1%（H30年産）→42%（R5年産））。

令和5年産 品種別・府県別の小麦の作付面積

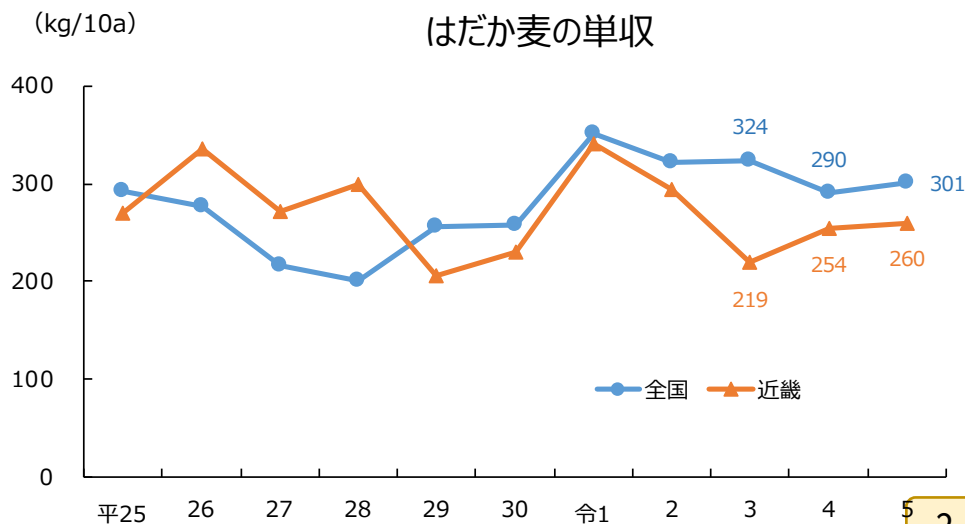
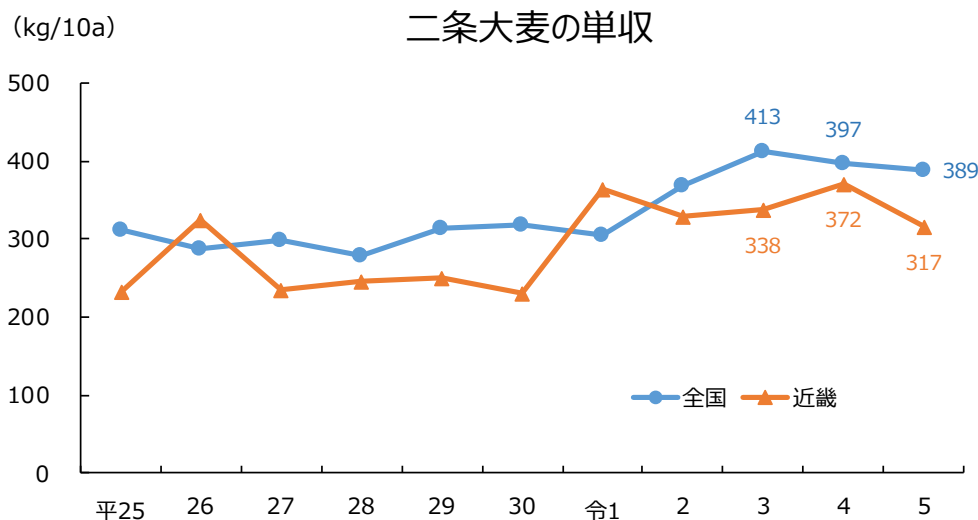
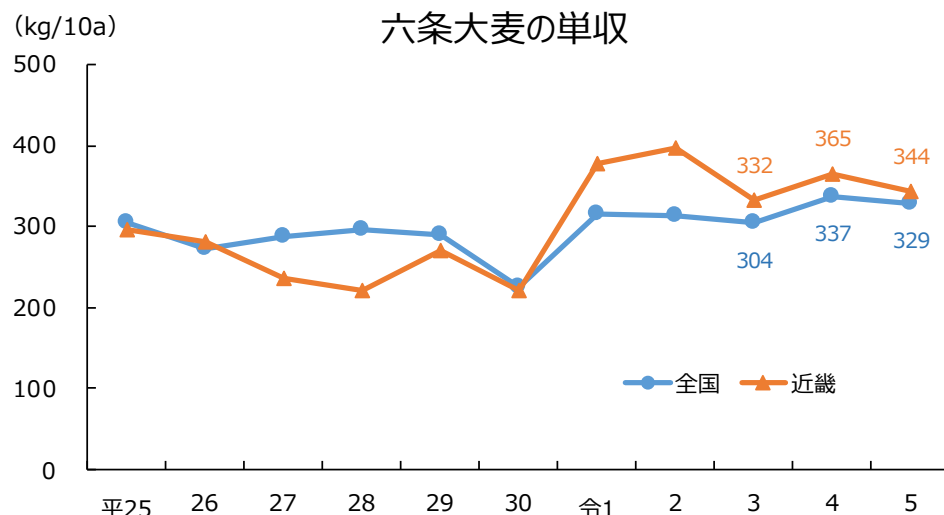
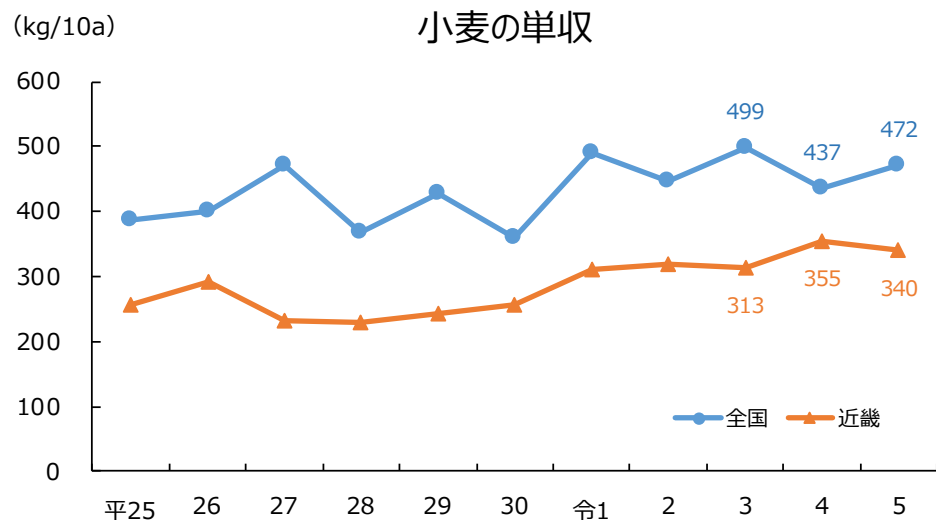


令和5年産 小麦の主要品種の作付割合(近畿地域)



近畿における4麦の単収の推移

令和5年産の近畿の麦の単収は、小麦340kg/10a、二条大麦317kg/10a、六条大麦344kg/10a、はだか麦260kg/10aで、六条大麦は、全国（329kg/10a）より高くなっています。



近畿における小麦の農産物検査 1 等比率の推移

麦の品質は天候の影響を受けやすく、1 等比率は年産によって大きく変動しています。
令和 5 年産の近畿の小麦の1等比率は66.5%となっており、一部地域で降雨による品質低下が見られ、令和 4 年産に比べて低下しました。

小麦の 1 等比率の推移

